

授 業 科目名	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	授業で見せて来た映像番組、見てみたい映像番組から、感じ、考え、話し合う					担当者	後藤 雅彦	
授業概要	概要	【実務(中学校教諭)経験を活かした授業】 中学校教諭として社会科(地理・歴史・公民)を担当した経験を基盤とし、これまで授業で見せて来た映像番組、これから見てみたい映像番組と一緒に視聴する。 【概要】 例えば、「NHKスペシャル」などのドキュメンタリー番組を、日常の中で好んで選び、見るだろうか。これだけの情報社会になっても、興味関心のあるネット動画(you tubeなど)は飽きずに見ても、他のことには全く関係を持たない。つまり、世の中や人々の喜怒哀楽に「目をつぶっている」ようなものではないだろうか。だからこそ、これまで中学生であっても大学生であっても、映像を見せて来た。そして、そこから「感じ」「考えた」ことを、いかに共有できるのか。「話し合い」の成否は今後の人間関係を結ぶカギにもなるので、司会進行は参加学生にお願いする予定。						
	到達目標	○様々な社会的な事象に関心を寄せ、事物の真実と正対し理解することができる。 感じ、より豊かに知ろうと努力している。 ○視聴後の「話し合い」の成否を気にし、互いに学ぶ意欲を高めている。 ○映像番組を通して、素直に						
履修条件	特になし							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	フレッシュマン・セミナーⅠ(1年前期) 教養演習Ⅰ・Ⅱ(2年以上)							
教科書	特に指定しない。必要に応じて授業の中で参考資料を配付する場合がある。							
参考書	必要に応じて授業時に紹介する。							
評価方法	授業や話し合いへの参加態度(30%)、毎時間の「復習シート」(視聴メモ、感想等)(30%)、ミニレポート提出(40%)を総合して評価する。							
フィードバック 方法	毎時間の「復習シート」や話し合いへのコメント							
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。							

授 業	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業内容	<Ⅰ. 映像番組の視聴(第1回～第14回)> ・映像番組は、長いもので二回に分けて、短いもので一回で視聴する。 ・視聴中は「復習シート」に適宜メモを取っていく。 ・視聴後は、感想を書いたり、感じ考えたことを「話し合い」の時間に充てる。 ・視聴後を掘り下げるため、共通テーマでミニレポート作成提出のため、ネット検索を行う。 ・映像番組・番組テーマ予定→「地球大進化」「アマゾン原住民」「アフリカ奥地の生活」「日本人はるかな旅」「聖徳太子」「奈良大仏」「織田信長」「日露戦争」「第一次世界対戦」「独裁者ヒトラー」「原爆投下」「日本独立」「地球環境問題」他必要に応じ、NHKの番組からタイムリーに適宜取り入れる場合がある。 <Ⅱ. 振り返り(第15回)> ・半期の授業を振り返り、ミニレポートの作成に取り組む。						
予習内容	授業で指示のあった資料の読み込みや必要に応じネット検索作業を進める。 予習は各90分を目安とする。						
復習内容	授業で学んだ内容について振り返り、常にポートフォリオ形式で「復習シート」等を分類整理する。 復習は各90分を目安とする。						
その他	視聴後の「話し合い」の司会進行は、参加者全員による輪番制とする。 ※G・Hカリ:【必修修(○お)】						